

## y の音



日本語には y がないので、ポーランド語の学習者にとって多くの問題を引き起こします。たいていの場合 i か e に、もしくは、単語内の位置によって、ある時は i に、そしてある時は e に置き換えられてしまうようです。これによって、時に単語の混同が起きます。

była [いた] - była [殴った]      przyszłość [未来] - przeszłość [過去]

myła [洗った] - miła [優しい]      przygotować [準備する] - przegotować [茹ですぎる]

wyjsć [出る] - wejść [入る]      przyjść [来る] - przejść [通り過ぎる]

syn [息子] - sen [夢]      przypis [脚注] - przepis [レシピ]

音声的な誤りによって単数形の代りに複数形になってしまうなど、文法的な誤りのように見えてしまうことがあります。

ładny [きれいな:男単] - ładni [男人複数]      miły [優しい:男単] - mile [中単・非男人複]

normalny [普通の:男単] - normalni [男人複]      dobry [良い:男単] - dobre [中単・非男人複]

wygodny [快適な:男単] - wygodni [男人複]      ciepły [暖かい:男単] - ciepłe [中単・非男人複]

また、sz, ż/rz, cz, dż の後に y の代りに i の発音をしてしまうと、これらの子音も軟化されて誤った発音になってしまいます。



i, y, e はどれも前舌母音です。舌全体が少し前方に、そして上に持ち上がった状態です。i において、最も位置が高く y、e と続きます。従って y の音は i と e の間の音のように発音されるので、その矯正が難しいのです。ポーランド語においては y の発音で問題が起こる

ことは滅多にないので、その習得方法論に関して特に研究されてきませんでした。教科書は、ただ耳で覚えて修正することをすすめています。しかしながらこれでは不十分でしょう。



1. 子音 **d** を「長め」に発音してみてください。 **d** の後に聞こえてくる音が **y** です。
2. 口の形に注意しましょう。 **i** の時には横に引っ張られて「笑っている」形ですが、 **y** の時にはそこまで平たくありません（笑っている形ではなくなります）。
3. **e** を発音する時の上下唇の間の空間は、 **y** の時よりも広いです。
4. ロシア語を学ぶ学生も、似たような問題を抱えているようです。同じく日本人に発音を教えている、モスクワ大学のオルガ・コロトコヴァのアドバイスは次のようなものです。すなわち、 **i** の発音の時には舌の先を下歯の裏側に配置するのに対して、 **y** の時には舌先を少し上に持ち上げます。ただし、舌の位置が下歯よりも完全に上になってしまっはけません。この訓練もまた、教師が側について指示することが必要となるでしょう。というのも、舌を持ち上げる際に後退しすぎてしまうこともあり得るからです。そうすると **y** の音はあまりきれいではない、「膜がかかったような」響きになってしまいます。
5. 石井哲士朗先生はポーランド語の **y** と英語の **y** を比較されています。それによると、「ウとイの中間音で、英語の **carry** の **y** に似ています」<sup>14</sup>。また、「ポーランド語の入門」の著者達も同様に「**y**（名称は **igrek** [イ グレク]) はかりに [い] と表記しますが、英語 **sit** の **i** と **set** の **e** の中間の音で、同じく英語 **Mary** の **y** によく似ています」<sup>15</sup> と述べています。



ty, dy, fy, wy, py, by, sy, zy, my, ny, szy, ży, czy



chyba, były, aby, gdyby, słaby, ryby, żeby, pytanie, przychodzić, przykład, przyszłość, przyjaciel, szybko, syn, sytuacja, dyplom, dywan, lody, ogrody, dynia, budynek, tydzień, styczeń, tylko, artysta, tysiąc, buty, mylić, mydło, myśleć, czytać, czyj, wysoko, wymowa, wyjść, wycieczka, wystarczy, wyspa, cytryna, język, fabryka, łyżka.

有能な芸術家は、未来が芸術への興味を呼び起こすことを願っている。

すぐにこの状況に慣れると思うよ——3, 4 週間あれば十分だ。

古い友人は、島への旅から戻ると、汁気の多いレモンを私に持ってきてくれる。

<sup>14</sup> 石井 哲士朗(1996)参照のこと。

<sup>15</sup> 木村彰一、吉上昭三共著、ヘンリック・リブシッツ協力 (1973)参照のこと。

この、バルト海のたくましい息子は決して休むことがなく、悲しそうだが穏やかだった。

もし質問を間違えなかったら、彼は数学の学位を取得できただろうに。

人生を操っているのは偶然だと、君は思う？

ハンサムで裕福で有名でも孤独なのと、太めで髪が薄いけれど女性に愛されるのとどっちがいい？

私の覚えているところでは、彼はやって来て挨拶をしたかと思ったらすぐに、不思議な白と黒の蝶でいっぱいの特異なアルバムを取り出した。

彼は少し飲むと、様々な冒険、例えばネズミが虎を脅かしたことなどを話してくれた。

女の子達は遠足に行き、「千夜一夜物語」の庭を訪れた。

おしゃれだけれど寒くて暗い部屋ではなく、快適で居心地の良い普通の部屋が欲しい。

一月に、ポーランド語の発音に関する講義を聞きに来ませんか？



y の音だけ単独で発音するのはそこまで難しくはありません。しかしながら、この音を音節、そして単語の中に組み込むのは、時間のかかる作業になるかもしれません。

żeby, silny, ciemny, kobiety など、y の音が i や e の音と一緒に現れる時に、とりわけ注意して正しい発音をするように心がけましょう。

多くの形容詞の男性単数主格形が y で終わります。y を i や e に置き換えてしまうと、文法的な間違いのように聞こえてしまいます。いくつか例を挙げておきます: *nowy, stary, ładny, czysty, głodny, sławny, różny, spokojny, biały, czarny, zimny, trudny, pełny, zdolny, piękny, smaczny, smutny, kochany, miły, przytulny*